

2018年4月18日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社 IDC フロンティア

IDC フロンティア、白河データセンターの新棟が竣工
～クラウドサービスの増強および高負荷・大規模のハウジング需要に～

株式会社 IDC フロンティア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：志立 正嗣、以下 IDCF）は、福島県白河市の環境対応型大規模データセンター「白河データセンター」の 5 号棟が 4 月に竣工しました。

本データセンターは 2012 年 9 月に 1 号棟が竣工し、2017 年 3 月から建設を進めていた 5 号棟が完成いたしました。本棟は約 1,400 ラックで全棟では約 3,320 ラック規模となり、16.5 万台以上のサーバーを収容できる能力を有します。

IDCF の拠点の中では東日本最大規模であり、AI/ディープラーニング向け GPU コンピューティングなどクラウド基盤の増強や、拡張余力をシステム選定の条件とした企業やインターネットサービス事業者の大規模なハウジング需要に応えます。また、高い電力供給と冷却性能が求められる高性能サーバーの集積にも対応可能な柔軟なフロア設計を採用しており、1 ラックあたり最大 30 kVA の機器収容にも対応します。

「白河データセンター」は、広大な敷地により拡張が容易な地方型の特長と、郊外型と同等のネットワークレスポンスを併せ持つデータセンターです。ネットワークの伝送路を直線距離に極力近づける最短経路で設計し、中継ノードも可能な限り少なくすることにより、東京-白河間のレイテンシ*1は 3.5 ミリ秒前後と東京近郊に位置するデータセンターと同等の応答速度で、物理的な距離に比例しない高速なネットワーク環境を提供します。

データセンター内のネットワーク構成には、海外大手テクノロジー企業でも採用している大規模向けネットワーク構成である CLOS Fabric を 2016 年から導入しており、クラウドやハウジングなどのサービス間を従来型のネットワークよりも広帯域かつシームレスに相互接続が可能です。今後は、他拠点への CLOS Fabric でのネットワーク拡張も進めてまいります。



白河データセンター5号棟

また、5号棟では白河の冷涼な気候を生かし、サーバーから出る排熱を処理するために、建屋への直接外気導入と水冷および空冷のハイブリッド空調を組み合わせたシステムを採用しています。空気の循環が1層で完結するシンプルな設計と建築一体型の空調システムとすることで、年間のPUE*2は設計値で約1.2となる高い冷却効率を見込んでいます。

なお、本データセンターを保有するヤフー株式会社は、引き続き自社用途としてYahoo! JAPAN各サービス運用のために利用いたします。

名称	白河データセンター
場所	福島県白河市
工期	5号棟：2017年3月着工～2018年4月竣工 ■既存棟 4号棟：2016年5月着工～2016年12月 3号棟：2015年10月着工～2016年3月 2号棟：2012年10月着工～2013年9月（2014年6月稼働） 1号棟：2011年9月着工～2012年9月（管理棟含む）
建築面積	5号棟：約3,200平方メートル
敷地面積	約67,600平方メートル（拠点全体）
延床面積	約30,200平方メートル （1～5号棟および管理棟などの施設を含む拠点合計） ■各棟の内訳 5号棟：約11,200平方メートル 4号棟：約2,300平方メートル 3号棟：約1,900平方メートル 1～2号棟：各棟 約5,900平方メートル
ラック数	約3,320ラック（1～5号棟の拠点合計） ■各棟の内訳 5号棟：約1,400ラック 4号棟：約420ラック（約70ラック×6棟） 3号棟：約300ラック（約50ラック×6棟） 1～2号棟：各棟 約600ラック
建物構造	鉄骨造
規模	5号棟：地上4階 3～4号棟：地上1階 1～2号棟：地上4階
床荷重	5号棟：1,200kg/平方メートル 3～4号棟：1,500kg/平方メートル 1～2号棟：1,000kg/平方メートル
実効電力	8kVA/ラック（標準）

受電能力	25 メガボルトアンペア
電気事業者	東北電力
空調方式	5号棟：直接外気空調＋ハイブリッド（水冷＋空冷）空調システム 3～4号棟：間接外気空調＋空冷空調システム 1～2号棟：直接外気空調＋水冷空調システム
PUE	設計値 約 1.2
レイテンシ	東京－白河データセンター間 3.5 ミリ秒前後
用途	クラウドサービス、コロケーションサービス、Yahoo! JAPAN 各サービス

以上

- *1 レイテンシとは拠点間の通信の往復時間で単位はミリ秒（msec）で表されます。一般的にはネットワーク回線で接続された拠点間の物理的な距離に比例し、東京－大阪間は 10 ミリ秒前後、東京－北海道・九州間では 15 ミリ秒前後、東京－沖縄間 35 ミリ秒前後とされています（自社調べ）。
- *2 PUE（Power Usage Effectiveness）は、データセンターのエネルギー効率を示す指標のひとつで、空調や IT 機器などデータセンター全体の消費電力を、サーバーなどの IT 機器の消費電力で割って算出します。また、国内のデータセンターの平均 PUE は 1.74 とされています（日本データセンター協会調べ）。

<企業情報>

【IDC フロンティアについて】 (<https://www.idcf.jp>)

社名：株式会社 IDC フロンティア（IDC Frontier Inc.）

代表者：代表取締役社長 志立 正嗣

事業内容：クラウド事業、データセンター事業

株式会社 IDC フロンティアは、クラウド、ビッグデータ分析、ネットワークセキュリティ、ハウジングなどの IT インフラを提供しています。国内最大規模を誇る広帯域のバックボーンネットワークと圧倒的な拡張性を持つ最新鋭のデータセンターを首都圏・東日本・西日本で展開しており、サーバーセンターからデータを集積するセンターへの変革を推し進め、お客さまの課題を解決するとともにデータが生み出す新しい価値を提供しています。

<リリースに関する報道機関からの問い合わせ先>

■IDC フロンティア 広報グループ

電話：03-6898-2430

メールアドレス：pr@idcf.jp

コーポレートブログ：<http://corp-blog.idcf.jp>

Twitter 公式アカウント：idcfreanier

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/fb.IDCFreanier>